

保護者の皆様

京都ノートルダム女子大学新本館の竣工延期について

謹啓 日頃から、学校法人ノートルダム女学院、京都ノートルダム女子大学、ノートルダム学院小学校の教育、研究、運営につきましては、ご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本法人では、北山キャンパス総合整備計画に基づき、京都ノートルダム女子大学及びノートルダム学院小学校の建設工事を着実に進めているところです。

このたび、京都ノートルダム女子大学新本館の建設予定地での掘削土搬出に関わる土壌環境調査で、別紙の通り、自然由来と推定される、環境基準値をわずかに超える物質が検出されました。

2011年12月に着工した小学校新本館一期工事では、環境基準値を超える物質は一切検出されず、同年10月に竣工した大学複合施設（キャロライン館）でも、問題はありませんでした。しかし、今回、大学新本館工事の建設予定地で極めて微量とはいえ、環境基準値を超える物質が検出されたことから、京都市に逐次報告し、現在必要な対応を進めております。

こうした状況から、本法人としては、現在建設中の京都ノートルダム女子大学新本館の竣工を延期してでも、慎重かつ徹底的な調査と環境対策工事を行い、児童、学生、保護者、近隣の皆様の安全を図り、安心していただける万全のキャンパス環境を確保することが最優先であると判断しました。

この決定に伴い大学新本館完成は、2013年9月の竣工予定から、約5ヶ月遅れ、2014年2月末頃となる見込みです。新本館の早期竣工を待ち望まれている皆様にはご迷惑をおかけし恐縮ですが、関係者一丸となり、万全の対策を講じた上で、少しでも早い時期の完成を目指し、工事を進めて参りますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、北山キャンパス総合整備計画の工事は引き続き、小学校二期工事を進めて参りますが、万一、環境基準値を超える物質が検出された場合、直ちに皆様にご報告のうえ、今回同様ご安心いただける環境整備に向け、法に準拠し適切に対応する所存であります。

小学校二期工事及び大学新本館の完成を含め、北山キャンパス総合整備計画に大きな期待を寄せておられる皆様方におかれましては、今後とも、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2012年12月5日

学校法人ノートルダム女学院
理事長 和田 環
京都ノートルダム女子大学
学 長 藪内 稔
ノートルダム学院小学校
校 長 行田 隆一